

# 阿部和建築文化研究所

## 『古民家が暖かくなったら』

### 古民家復権のすすめ



クリックで拡大表示されます。

取り壊しの危機に瀕した美しい書院座敷を持つ2階建ての町家を仙台市郊外の田園地帯に移築復元することができました。

下の写真のように、杉の面皮造りを長押や天井廻り縁、棹縁に多用しています。この技法は高度な大工技術と杉の良材がそろわないと実現できません。

小屋組みでは、主に社寺建築に用いられる桔木（はねぎ）を3本も使用して、移築前のお店正面を柱無しで全面開放にすることを可能にしています。この特殊な構造を小屋裏に登って見学できるように設計しました。

もちろん標題のように暖かい家です。

光っているのが杉の面皮です。



2.7mもある長い畳が敷いてあります。